

まちづくりの考えは？

問 いじめの実態と傾向その対策

答 早期発見で早期対応する



中根 久治 議員

いじめ防止推進法が施行された。この法律を受けて、現状の実態をふまえた今後の対策を問う。

問 いじめの件数と傾向は、

答 **【教育長】** 昨年度が26件傾向は、「ひやかし・からかひ」が多い。

問 いじめに対する保護者の声にどのように対応したか。

答 学校評価アンケートを実施し、学校運営に反映をさせている。

問 学校の現職教育で、いじめの問題はどのように扱われているか。

答 定期的に全職員による

対策委員会を開き、いじめの早期発見・早期対応の研修をおこなっている。

問 ネットいじめの実態と対応、携帯などを学校に持参することへの指導や規制はあるか。

答 ネットいじめは2件を把握。携帯電話は原則持ち込み禁止。

問 いじめ防止法第4条をどう捉えるか。

答 いじめの防止などの基本理念を定めたものと承知している。

問 家庭教育学級にいじめの問題はテーマとされているか。

答 自主的な計画ですめられており、把握していない。

問 いじめホットラインの充実は

答 24時間対応を検討中

いじめは被害者が認めないといじめにはならない。いじめられている子どもには酷な勇気を求めることになる。一人で悩むのではなく、みんなで見守る組織づくりについて問う。

問 いじめ、暴力、けんか、体罰、せつかんなどの定義は。

答 **【教育長】** 文部科学省は「いじめ」を心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を

感じているものと定義している。

問 いじめ対策ホットラインを教育相談室に充実を。

答 **【教育部長】** 休日でも相談活動がおこなえるように、相談室の電話に転送機能をつけ、24時間対応ができるよう検討中。

問 いじめ対策として虐待と同様に通告の義務化を。

答 **【住民こども部長】** 検討

している。

問 情報を学校に集める受け皿を用意する考えは。

答 **【教育長】** 保護者に情報を伝え、学校と家庭が一体となって指導に当たっていく。

問 法律、条例、組織の相関を図式化する考えは。

答 **【住民こども部長】** いろいろケースがあり図式化は難しい部分があるが検討はしていきたい。



教育相談室



丸山 千代子 議員

問 カラーユニバーサルデザイン導入

答 ガイドライン作成を検討する



伊藤光学工業(株) HPより

疑似体験できる眼鏡

問 色覚障がい者は300万人以上で、色の見分けが困難な色弱は、男性で20人に1人、女性で500人に1人といわれる。色弱者の現状と把握は。

答 健康福祉部長 色弱者の実態というのは全く把握していない。

問 学校の健康診断項目から色覚検査が廃止され、色弱を認識していない場合もある。自己申告による小中学校の色弱者数は。

答 教育長 小学校1人、中学校1人を把握している。

問 学校の対応と色覚検査の再開は。

答 個別に検査・指導をおこなうなど、必要に応じた適切な対応ができるように体制を整えている。

問 疑似体験できる眼鏡の活用と色覚障がい対策を。

答 健康福祉部長 疑似体験ができる現物を確認したい。

問 多様な人々が利用しやすい生活環境のため、カラーユニバーサルデザイン※を導入したまちづくりを。

答 企画部長 社会的弱者

という大きな枠で目標を定め、ガイドライン作成を検討する。

※カラーユニバーサルデザインとは
色の見え方が一般と異なる人にも情報がきちんと伝わるよう、色使いに配慮したデザイン。

問 調理室の充実と改善を

答 利用ニーズを調査し検討する

と定員は。

答 教育部長 さくら会館の第2研修室と準備室を合わせて、定員24人程度

問 生涯学習で利用する調理室の実態は。

答 夏休み子ども教室でのパンづくりやそば打ち体験。

シルバースクールではお菓子づくりがあり、保健センターの2階の栄養指導室を活用している。

問 さくら会館の調理室は一般開放しているが、狭くて使いにくい。

答 研修室が大前提で、その付帯施設ということで調理室としても活用できる。

問 代替施設利用と調理室の充実、改善を。

答 保健センターの活用は管理運営上の問題があり活用できないが、さくら会館の準備室を充実していく。

問 第2次幸田町食育推進計画は、健康、豊かな人間性、食文化、食環境の4つの基本目標にむけ、学校や保育園、地域などと連携し活動をおこなう、食育をさらに推進するためである。

しかし、公共施設の調理室は手狭で利用できる人数に限られる。住民が利用できる調理室の現状

そのほかの質問項目

- リフォーム助成制度の実施を

問 地域いじめ防止基本方針の策定を

答 各学校にすすめるよう指導する



水野 千代子 議員

今年6月「いじめ防止対策推進法」が成立。9月28日施行される。

問 小・中学校別のいじめ認知度アンケート結果は。

答 **【教育長】** いじめ認知件数は、小学校9件、中学校10件の報告があったが、すべて解消している。

問 教育長として、この法律をどう受けとめるか。

答 いじめの防止を総合的に推進する法律であり、学校が、安全で楽しいものとなるように努める。

問 「地域いじめ防止基本方針」の策定を。

答 教育委員会の基本的考えを整理し各学校にすすめるように指導する。

問 全国で教職員による児童・生徒への体罰の状況が明るみに出た。教職員への聞き取り、

児童・生徒、保護者のアンケート調査結果は。

答 平成25年度、8月末で体罰はない。体罰禁止の指導を。

答 体罰による指導は教育の敗北である。

校長会をはじめ各会議で体罰禁止の指導をしていく。



真剣に話を聞く子どもたち（坂崎小学校）

問 学校体育館に大型扇風機を

答 設置を検討する

中学校からの要望はないが、熱中症対策には取り組んでいく。

問 未設置保育園に導入を。**【住民子ども部長】**各園で設置するか、また設置する場所は、各園の判断ですすめる。

問 熱中症は室内でもおきる。体育授業や部活動で使う学校体育館は、空気がこもりやすく、室温も高くなる。学校体育館に大型扇風機を。

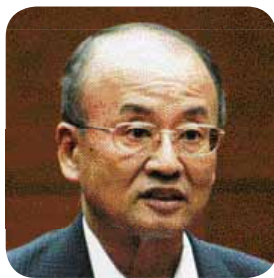
答 **【教育部長】** 有効な熱中症対策の一つと考えており、設置を検討する。

今年の夏は記録的な猛暑が続き、全国的に平年を2度以上も上回っていた。

ミストシャワーは、水を霧状に噴射し気化熱で周囲の温度を下げ、熱中症対策として効果がある。

問 昨年、幸田中学校に設置された。その効果と未設置小・中学校に導入を。

答 **【教育部長】** 体育授業や部活動に使用するなど有効的に活用。生徒からも好評で効果がある。各小・



志賀 恒男 議員

問 地場農産物の給食活用拡大を

答 引き上げる努力をする



新鮮な野菜がそろう道の駅

農業再起動の取り組みと今後の施策を問う。

問 過去3年間の主な施策とその成果は。

答 **環境経済部長** 産業活性化支援事業、人・農地プランの策定、青年就農給付金制度、農地集積協力金交付制度などの補助事業で積極的に取り組んでいる。

問 学校給食の地産地消の割合と金額は。

答 5.9%で111万7000円。他に米は幸田

町産を使用。

問 今年の3月、第2次幸田町食育推進計画が策定された。給食などへの地場農産物の活用計画は。

答 平成28年度に幸田町産を7%、県内産を40%にする計画。

作付種目、生産量の確保など幸田町産を含む愛知県産で引き上げる努力をする。

問 町内大企業の社員だけでも5000人以上いる。社員食堂での地産地

消の拡大申し入れを。

答 委託で限界があるが、はたらきかける。

問 新しい農産物の開発・育成の具体的成果は。

答 イチゴは、紅ほっぺ。ナスは、とげなし美茄子の開発。

問 農業支援の今後の重点施策は

答 農業法人化と6次産業化推進

農林水産省は、平成24年から新しい農業支援事業を始めた。

問 新規就農者には、準備型と経営開始型がある。それぞれの対象者数は。

答 **環境経済部長** 経営開始型で30代の男性2人。

問 今後の新規就農者の増加見通しは。

答 制度以外の新規就農もあり、希望者の利用はあると考える。

問 平成21年の農地法改正

後の農業生産法人の推移と今後の見通しは。

答 水田作2団体、養豚1団体、食用菊1団体がある。安定的な経営を図るため増えてくると予想される。

問 シルバー人材センターへの農家からの業務委託の動向は。

答 農繁期に、一時的な労働力を補う草刈りなど。

問 農業分野での、定年後サラリーマンの活路に工夫を。

答 農業講座など実施し、農家研修による就農支援。援農ボランティアの育成組織化を図り、農業の労働不足を補う対策に取り組む。

問 国の農業政策に対応した町の重点施策は。

答 農業の法人化、6次産業化の推進をしていく。



都築 一三 議員

問 深溝松平墓所の国指定はいつか

答 11月ごろ結果がでる

問 登録の計画と史跡指定の今後の計画と範囲は。

答 **教育部長** 県から文化庁に提出され、11月ごろ

結果がでる。本光寺境内全域が範囲となる。

問 他の史跡との違いと特色は。

答 神社の本殿を写した神殿造り、六角形のお棺など独特の形状を備え、発祥の地である深溝に歴代当主全員の墓所がある。

問 この時期文化財登録になったわけは。

答 平成21年の発掘調査で特異性や貴重性が注目された。

問 墓所の発掘調査で出土した宝物は含まれるのか

答 今後の扱い方は。出土品は含まない。

問 今後文化財保全の計画は。

答 史跡の整備、保護、活用方針などを計画する。

問 浄土寺の十二神将や他の造形物や史跡に波及させていくつもりはあるのか。

答 全域の文化財調査を随時すすめ、後世に伝えるため保護、充実に努める。

問 観光で人を呼べる町に

答 まちの土台としてPR

問 観光の町、幸田で農業団体や商工会と連携して幸田町を賑わいの町に。

答 3つの駅からの今後の観光地へのアクセスは。

問 **環境経済部長** コミュニティバスのコースを基本に、停留所からのアクセスや案内方法を研究していく。

答 今後、観光整備の考えと観光の予算は。

問 観光協会への事業費補助と、観光施設の維持が

中心で、現行の予算水準の範囲。

問 観光課や観光ボランティア制度の設置の考えは。

答 観光施設や環境が変わらない限り、観光単独の体制は難しい。

問 地域経済の活性化や史跡周辺の活性化を促し、

農業団体や商工会などと連携して、おみやげ開発など実施していくべきだ

と思うがどのような考えか。

答 今後の課題。農業主導の6次産業化で、農・工・商の連携による新たな取り組みに支援していく。

町長 将来にわたって持続可能なまちの土台として、幸田町のよさをもっとPRしていく。



神殿造りの墓所



伊藤 宗次 議員

問 10万円で廃車が150万円に

答 把握できていない



更新された親切ダンブ

- 問** 親切ダンブ故障はいつ。
答〔建設部長〕 平成25年3月5日。
- 問** 修理見積り業者誰でいつ提出。
答 愛知自動車から3月7日。
- 問** 見積り内容理解し、庁内協議誰がいつ。
答 土木課の職員が確認し、19日まで庁舎内でチェック。
- 問** 公用車更新基準超えて即廃車結論だ。
答 廃車前提の見積りとは理解していない。複数業者見積りと庁内
- 問** チェックも複数で。
答〔町長〕 2者でチェックすることで、より正確性が生じる。
- 問** 廃車で譲渡証明書の意味を理解したか。
答〔建設部長〕 永久抹消ではなく、車体までスクラップするものではない。
- 問** 解体だ。輸出の答弁証明できるか。
答 エンジンが解体し、車体は切り離し、貿易に回したという回答。証明などはない。
- 問** 10万円で廃車し、オー

- 問** 指定管理者制度は、小泉内閣の「官から民へ」で導入。財政削減効果は限界にきた。
答〔教育部長〕 「民でできるものは民で」の制度の中ですすめており、限界とは捉えていない。

問 図書館の管理運営を直営に戻せ

答 一体管理で相乗効果がある

- 問** クシヨンで150万円で取引をどう理解する。
答 動かない車なので引き取り価格10万円。
- 問** 140万円の損害を町に与えた。
答 どう流用されたかは把握できていない。
- 問** 新車375万円余と140万円。計515万円余の損害を町に与えた認識はあるか。
答〔町長〕 落ち度もあったと思うが、十分調整する。

- 問** 運営費削減と職員削減で直営時と指定管理後の職員数、労働条件の違いは。
答 おおむね5、6人で、5、6000万円の給与抑制。
- 問** 文科大臣、総務大臣は「図書館に指定管理はなじまない」と国会答弁。その認識は。
答 図書館の蔵書構築、専門性の蓄積が必要。直営に戻せ。
- 問** 民間のノウハウを活用し、多種多様な自主事業に取り組んでいる。
答 現状の協定書の中で取り組み、指定管理者とも協議し対応していく。
- 問** 3館一体管理の効率化は、ミンモクソも一緒にした論だ。
答 総合的に管理をする。
- 問** 図書館管理運営を直営に戻せ。
答 隣接する施設の一体管理をすることが最も相乗効果が期待される。